

みえ熊野学研究会共催 特別講座

熊野の文学と民話の旅

～世界遺産 熊野古道伊勢路周辺の魅力を訪ねる～

開講日：1月28日(月)、2月25日(月)、3月24日(月)～25日(火)
午前10時～11時30分 (3月は現地学習)

受講料：2回分3, 150円 (講義のみ)
3回分4, 095円 (現地学習費別途要)

平成16年7月、熊野古道は「紀伊山地の霊場と参詣道」として世界遺産に登録されました。熊野古道・伊勢路は熊野三山詣でなど巡礼の信仰の道として多くの人々が通りました。西国三十三所巡礼の観音信仰に救いを求め、悩みを抱える巡礼者が集うようになると、貧しさの中にあっても親切にもてなしてきた熊野人。その熊野人が、美しい風土と歴史の中で語り継いできた民話や文学に触れていただきたいと思えます。みえ熊野学研究会がサポートします。



種まき権兵衛が、大蛇と一騎打ちを演じたと言われる馬越峠

カリキュラム

1月28日(月)	『熊野の民話と伝承に学ぶもの』(栄中日文化センター教室) 熊野古道周辺には数々の民話・伝承が残っています。その背景にある自然、信仰、生活文化についてお話します。 みえ熊野学研究会運営委員長、紀北町教育長、児童文学者 小倉 肇
2月25日(月)	『奥熊野に生きた人々』(栄中日文化センター教室) 中央からかけ離れた奥熊野も、歴史の歯車と無縁ではありませんでした。明治期最後のキリスト教弾圧で、肥前長崎から流されてきた隠れ切支丹の人々…。近代化の嵐の中、愛す者を失い苦難に生きた奥熊野の女性たちについて語ります。 みえ熊野学研究会運営委員、作家 中田重顕
3月24日(月) ～25日(火)	『世界遺産 熊野古道 横垣峠・馬越峠と周辺に伝わる民話の地を訪ねる』(現地学習) みえ熊野学研究会研究員、三重県史編集委員 三石 学 行程 24日(月) 8:00名古屋駅西口出発 → 車中で昼食(熊野古道葉草弁当) → 横垣峠登り口にてバス乗換 → 13:30紀州犬発祥の地・峰弥九郎伝説阪本集落・横垣峠(折山神社・亀島の灯笼) → 18:00古里民宿(地物の魚介類10種類以上を使った地魚会席など) 25日(火) 8:30古里出発 → 熊野古道センター・夢古道おわせ(約6,000本の尾鷲ヒノキと熊野スギを使った木造建築) → 馬越峠(伊勢路随一の美しさを誇る石畳と種まき権兵衛伝説) → キャンプinn海山で海鮮バーベキューの昼食(弘法カキとも呼ばれる幻の渡利カキと伊勢エビや干物など) → 種まき権兵衛の里・宝泉寺 → 大昌寺格子絵天井(143枚の格子天井に百歌仙の歌と極彩色で描かれた絵馬がはめられている) → 17:30道の駅マンボウ出発 → 19:50名古屋着 ※現地学習費は1万8000円程度(詳細は、後日ご連絡いたします。)

※日程・内容はやむを得ず変更になることがありますのでご了承ください。

●入会金不要 ●インターネット受付していません



名古屋・栄 中日文化センター

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル
フリーダイヤル 0120-53-8164

www.chamichi-culture.com